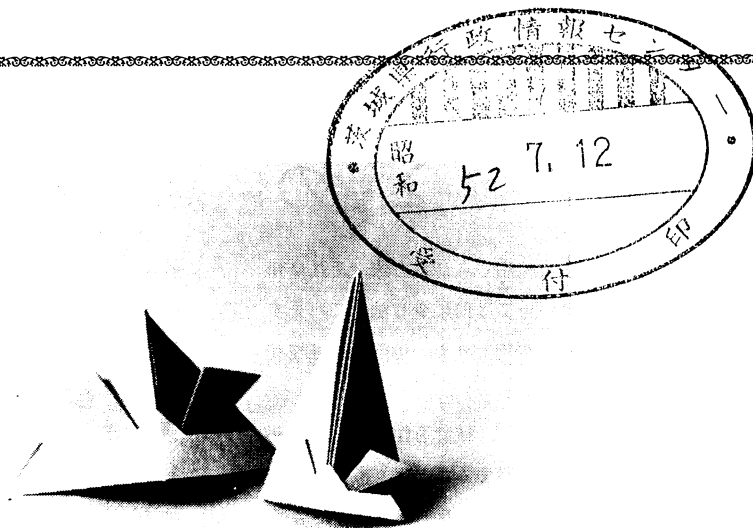


## 目 次

歳時記	1	7. 電力	22
Σの意味	2	8. 金融	23
統計の窓	4	9. 物価	24
農家数・面積ともに減少	6	10. 経済	25
茨城の20年	10	11. 消費生活相談	25
喫煙室	12	12. 家計	26
		13. レジャー	28
指 標		14. 保健相談	28
1. 指要指標	14	15. 交通事故	29
2. 人口	16	16. 交通事故保障相談	29
3. 労働	18	17. 犯罪	30
4. 農業	20	18. 火災	30
5. 鉱工業	21	刊行物のお知らせ	31
6. 建築	22	伝言板	32

## 利 用 上 の 注 意

- 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入
  - 2 「年」は暦年、「年度」は4月から翌年の3月まで
- 3 記 号
- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| — 零または該当数字のないもの  | r 訂正数字             |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの | △ 減少または出超          |
| … 不詳のもの          | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字           |                    |



5月5日は子供の日。1日の日曜日，3日の憲法記念日と合せて，ゴールデン・ウィークという。会社によっては，この前後と合せて，10日間の休みにするとか。

まだまだ欧米なみとはいかないが，長期の休暇が実現するということはよいことである。

## 今月のおもな行事

- 1日 学校基本調査調査日
- 9～11日 市町村統計担当者会議（旭村）  
農産物流通調査市町村事務打合せ会議（旭村）  
地域経済構造調査及び市町村民所得推計市町村事務打合せ会（旭村）
- 10日 全国物価統計調査卸売調査員事務打合せ会
- 10～11日 統計調査員研修会（群馬県）
- 13日 全国統計主管課長会議（東京都）
- 15日 北関東4県親善野球大会（茨城県）
- 16～17日 就業構造基本調査ブロック会議（埼玉県）
- 20日 全国物価統計調査卸売調査日
- 25日 全国物価統計調査小売調査日
- 25～27日 全国物価統計調査生鮮食料品調査日
- 26日 消費者動向予測調査担当者全国会議（東京都）  
北関東4県県民所得事務研究会





## 人口統計を細かく

### 利用者の声

毎月公表されている人口統計では、県内の4地域（県北・鹿行・県南・県西）ごとや、各市町村ごとの人口と世帯までならわかるが、各市町村内の字単位など細かい単位ではわからない。

一番細かくわかるのは、どの単位までなのか。また、これから将来、字単位など細かい単位まで区分した統計をとる予定はないのだろうか。

### 担当者の声

社会の急速な変化に伴い、人口構造、産業構造に多大な変化を及ぼす人口の分布や移動の状況は各方面に深い関心を持たれ、また広く利用されているものと思います。

この人口に関する資料としては、国勢調査、人口動態調査、更に本県では「茨城県常住人口調査」を実施し、国勢調査の人口を基に、毎月県の人口と世帯の移動状況を公表しています。

ところで、この月報がどのように作られるかと云いますと、まず各市町村において、1ヶ月間の人口及び世帯の移動数が集計されます。これを差引きし各市町の人口と世帯が推計されると、県の方に毎月15日の期限で提出して頂きます。更に県における審査集計の作業を経、ここで決裁が降りますと、一般に公表になるわけです。が、この後印刷の日数を加えますと、月末又は翌月初旬に月報として皆様のご利用を受けるべく、誕生と相成ります。

さて、その内容ですが、まず県の人口及び世帯数がわかります。この他、各市町村別・地域別の人口と世帯数、1月間の出生・死亡の数、転入・転出の数、又、その結果の人口

の増減、外国人は何人いるだろうかというような事柄がわかるようになっていきます。転入・転出については、県・市部・郡部の別で年齢階層を4段階に分け、移動数を載せています。

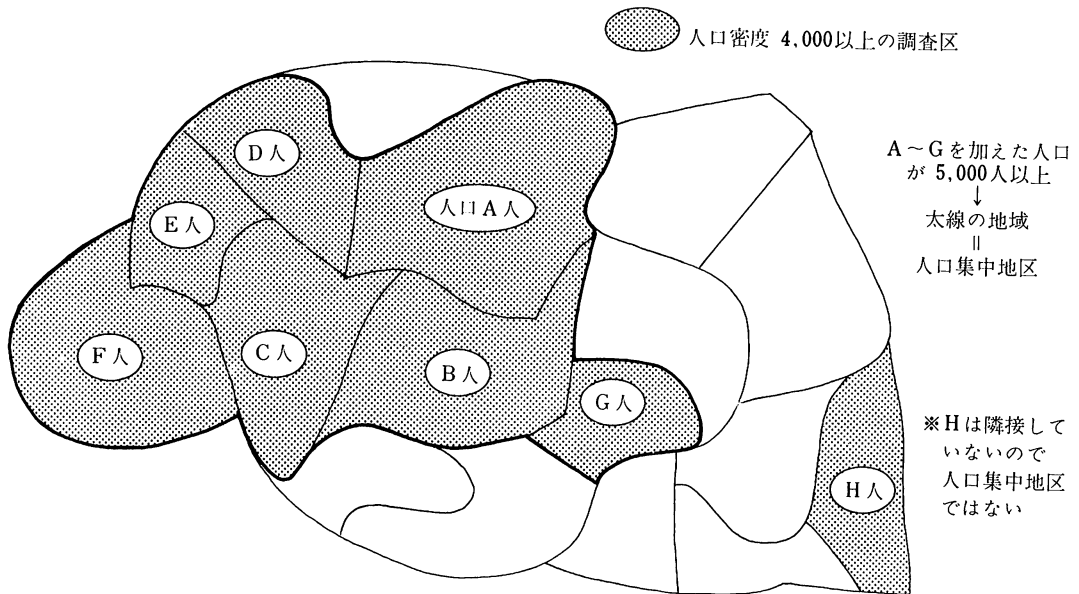
今回、利用者の方からご質問の、市町村以下の地域毎の人口については、5年に1度行われる国勢調査の調査区単位の資料があるだけですから、ご期待に応えられるものではありません。しかし、各市町村の段階で、地域別に人口を揃えているところもありますのでお問合せ下さい。また、最近非常に年齢別人口の照会が多く、その必要性も高まってきていますが、これも残念ながら、現段階では、国勢調査の結果を持つ状態で、不便をきたしています。一部の他県において、人口の集計作業の電算化と共に、年齢別人口を得ているところもあり、本県もなるべく早期に実現させたいと考慮しています。

なお、昭和50年国調の報告書が5月下旬にできあがりますと、年齢別人口、産業別人口、職業別就業者数等もわかりますし、広範囲に渡るご利用をいただけるものと思います。加えて、国勢調査の中に用いられます人口集中地区（DID=Desenly Inhabited Districts）とはどのようなものかといえますと、人口密度1平方キロメートル当り4,000人以上の調査区が隣接して、5,000人以上を有する地域を構成する場合、この地域をさして「人口集中地区」とします。報告書では、その面積・人口や、どこがこれに当るかというようなこともわかるようになっていきます。

以上、ご説明した資料は、茨城県庁内企画部統計課の行政資料室の方に保管しています。人口について資料が欲しいというような場合には、是非ご利用いただき、より一層皆様のお仕事にお役立て下さるようお願いいたします。

（県統計課 人口学事統計係 中崎）

人口集中地区



※ 人口集中地区の設定の目的

従来、調査の結果は、行政地域を単位として集計され、市部は都市的地域を、郡部は農漁村的地域を表わすものとされていた。

ところが、昭和28年の町村合併促進法、昭和31年の新市町村建設促進法等によって、市部の地域に農漁村的性格の強い地域が広範囲に含まれるようになった。その結果、今までの行政地域を単位とした結果では、市部が都市的地域としての性格を表わさなくなった。

そこで人口集中地区が設定されることになったのである。この資料は、都市計画、市街地再開発計画、産業立地計画、環境衛生対策などに使用されている。

また最近では、繁華街（CBD＝Central Business Districts）の研究もなされている。

ちなみに、人口集中地区の資料は、昭和35年国勢調査か

ら公表されている。

資料内容の問合せは

水戸市三の丸1-5-38

茨城県企画部統計課人口学事統計係

TEL 0292-21-8111 内線421

また、このページは投稿大歓迎です。質問には担当の係からお答します。どんな質問でもお寄せください。

宛先

水戸市三の丸1-5-38

茨城県企画部統計課企画調査係

「統計いばらき担当」まで

TEL 0292-21-8111内線420

## 1975年農業センサスと比べ

# 農家数・面積ともに減少

### —昭和51年果樹基本統計調査—

この調査は、10アール以上栽培農家調査票と10アール未満栽培農家調査票とに分かれて異なった調査項目があり、10アール以上栽培農家のみの結果表が多い。(統計表に表示。)

#### 1 果樹栽培農家と果樹栽培面積

昭和51年7月1日現在で本県の果樹栽培農家数は、調査対象81市町村で21,920戸(うち10アール以上果樹栽培農家数は17,580戸(80.2%))であり、その果樹栽培面積は776,162アール(うち10アール以上果樹栽培面積は753,300アール(97.1%))となっている。

この果樹栽培面積を果樹種類別にみると、くりが568,295アールで全果樹種類の73.2%を占めている。次いで日本

なしの125,462アール(16.2%)となっており、この2果樹種類で全種類の約9割を栽培したこととなった。次にかき27,580アール(3.6%)、うめ23,691アール(3.1%)、ぶどう17,268アール(2.2%)、温州みかん5,899アール(0.8%)、りんご4,224アール(0.5%)等となっている。

又1975年農業センサスに比べると、果樹栽培農家数は6.4%の減少(全国平均6.3%減少)であり、その果樹栽培面積は6.5%の減少(全国平均3.5%減少)となっている。

面積の減少率が高い果樹種類をみると、その他の果樹種類を除いてはうめが27.7%減少と最も多く、次いでかき19.3%減少、りんご17.5%減少、温州みかん11.2%減少、くり5.0%減少となっており、日本なしは、ほぼ横ばいであり、ぶどうのみが3.1%の増加となった。

表-1 果樹栽培農家数と面積

単位：戸、アール、%

果樹種類	今回調査			1975年農業センサス		増減率	
	農家数	面積	構成比	農家数	面積	農家数	面積
茨城県計	21,920	776,162	100.0	23,410	829,734	△ 6.4	△ 6.5
く り	15,353	568,295	73.2	16,009	598,283	△ 4.1	△ 5.0
日本なし	3,749	125,462	16.2	3,980	125,986	△ 5.8	△ 0.4
か き	1,521	27,580	3.6	1,693	34,186	△ 10.2	△ 19.3
う め	2,307	23,691	3.1	2,632	32,755	△ 12.3	△ 27.7
ぶ ど う	604	17,268	2.2	619	16,745	△ 2.4	3.1
温州みかん	377	5,899	0.8	420	6,640	△ 10.2	△ 11.2
りんご	117	4,224	0.5	155	5,118	△ 24.5	△ 17.5
その他の果樹		3,743	0.5		10,021		△ 62.6
全 国 計	835,200	31,330,000		891,400	32,466,000	△ 6.3	△ 3.5

注：1農家で複数の果樹を栽培している場合もあるので、総数と果樹種類毎の積み上げ数は一致しない。

#### 2 世帯員と果樹栽培従事者(果樹園面積10アール以上栽培農家のみ)

果樹栽培面積10アール以上栽培農家の世帯員数は84,295人である。うち果樹経営に従事した人は39,954人(47.4%)であり、うち男20,112人、女19,842人となっている。従

事日数区別では29日以下が22,391人(56.0%)となっている。年齢区別では30～49歳までが16,735人であり、50～64歳までが13,548人で果樹経営に従事したとなっている。この2階層で75.8%を占めている。雇入労働では雇入農家数が1,419戸でその雇入日数は39,947日となっ

ている。うち雇用労働が31,257日で全雇入の78.2%を占めている。次いで手伝い 5,301人(13.3%), ゆい, 手間替え 3,389日(8.5%)となっている。

表-2 果樹経営従事世帯員数と構成比(日数区分別)

単位:人, %

区分	計	29日以下	30~59	60~99	100~149	150日以上	
計	実数	39,954	22,391	7,905	3,710	2,301	3,647
	構成比	100.0	56.0	19.8	9.3	5.8	9.1
男	20,112	10,980	3,909	1,912	1,235	2,076	
女	19,842	11,411	3,996	1,798	1,066	1,571	

注:果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

表-3 果樹経営従事世帯員数と構成比(年齢区分別)

単位:人, %

区分	計	15~29歳	30~49	50~64	65歳以上	
計	実数	39,954	4,556	16,735	13,548	5,115
	構成比	100.0	11.4	41.9	33.9	12.8
男	20,112	2,600	8,023	6,532	2,957	
女	19,842	1,956	8,712	7,016	2,158	

注:果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

### 3 果樹栽培状況

#### (1) くり <568,295アール>

全果樹種類の73.2%を占めるくりは、美野里町、千代田村、茨城町、出島村、八郷町の順であり、この5町村で45.1%を占め、平坦地が87.4%を占める。又1戸当たりの栽培面積は43.4アールとなっている。

#### (2) 日本なし <125,462アール>

関城町、千代田村、下妻市、八郷町、八千代町の順であり、この5町村で61.4%を占め、平坦地が91.4%を占める。又1戸当たりの栽培面積は43.4%となった品種別栽培面積では長十郎が55.1%を占め、幸水24.4%、豊水・新水11.3%、二十世紀 1.0%、その他の日本なし 8.2%となった。

#### (3) かき <27,580アール>

八郷町、千代田村、玉里村、新治村の上位新治郡の

4町村で、67.6%を栽培した。1戸当たりの栽培面積は21.6アールとなっており、平坦地が63.0%を占め、緩傾斜地が31.7%を占める。品種別栽培面積では富有・次郎が90.3%と多くを占め、その他の甘柿 8.3%、渋柿 1.4%となった。

#### (4) うめ <23,691アール>

最も多い総和町でも 3.3%と少なく、鹿行地域を除き、全県下に渡って栽培されている。1戸当たりの栽培面積は15.2アールとなっており、平坦地が85.1%、緩傾斜地12.3%となった。

#### (5) ぶどう <17,268アール>

常陸太田市、岩井市、八郷町、結城市、日立市の順であり、1戸当たりの栽培面積は31.7アールとなっている。又平坦地が80.6%、緩傾斜地16.5%を占めている。品種別では巨峰を63.1%栽培し、テラウェア14.2%、マスカットベリーA 6.8%、キャンベルアーリー-6.5%、その他のぶどう9.4%となった。

#### (6) 温州みかん <5,899アール>

八郷町が34.7%と最も多く、真壁町、筑波町、十王町、大和村の順であり、地形別栽培面積では他の果樹種類と異なり、緩傾斜地が38.1%、段畑37.9%、急傾斜地14.9%を占め、平坦地はわずか 9.1%となった。又1戸当たりの栽培面積は21.1アールである。品種別栽培では早生温州が79.5%を占め、普通温州は20.5%となった。

#### (7) りんご <4,224アール>

栽培市町村17のうち大子町が 3,119アール(73.8%)と大きく栽培した。1戸当たりの栽培面積は42.3アールであり、平坦地が65.7%、緩傾斜地24.9%となっている。品種別栽培ではデリシャス系26.8%、ゴールデンデリシャス15.8%、ふじ12.8%、陸奥 6.6%、紅玉 5.8%、祝・旭2.8%、つがる0.8%、国光0.5%、印度 0.4%その他のりんご27.7%となった。



# ■調査から

表-4 上位5市町村が占める種類別果樹栽培面積

単位：アール，%

く り			日 本 な し			か き		
市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比
計	568,295	100.0	計	125,462	100.0	計	27,580	100.0
美野里町	65,519	11.5	関城町	23,602	18.8	八郷町	9,576	34.7
千代田村	52,890	9.3	千代田村	16,827	13.4	千代田村	3,990	14.5
茨城町	49,773	8.8	下妻市	16,209	12.9	玉里村	2,754	10.0
出島村	44,270	7.8	八郷町	13,082	10.4	新治村	2,311	8.4
八郷町	43,658	7.7	八千代町	7,324	5.9	岩間町	1,420	5.1
その他	312,185	54.9	その他	48,418	38.6	その他	7,529	27.3

う め			ぶ ど う			温 州 み か ん		
市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比
計	23,691	100.0	計	17,268	100.0	計	5,899	100.0
総和町	783	3.3	常陸太田市	2,972	17.2	八郷町	2,446	34.7
水戸市	767	3.2	岩井市	1,041	6.0	真壁町	1,028	14.5
筑波町	677	2.9	八郷町	858	5.0	筑波町	750	10.0
那珂町	673	2.8	結城市	849	4.9	十王町	654	8.4
岩井市	657	2.8	日立市	757	4.4	大和村	223	5.1
その他	20,134	85.0	その他	10,791	62.5	その他	798	27.3

#### 4 10アール当たりの植栽本数（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

10アール当たりの植栽本数別面積を構成比でみると10アール当たりの植栽本数が少ない果樹種類はぶどうとりんごであり、1～19本植栽層が最も多く、次いで20～39本植栽層となっている。又10アール当たりの植栽本数が

多い果樹種類はみかんであり、100～149本植栽層が最も多く、次いで80～99本植栽層となっている。くり、うめ、かきについては20～39本植栽層が多く、次いで40～59本植栽層となっている。日本なしは40～59本植栽層が多く、次いで60～79本植栽層となっている。

表-5 10アール当たりの植栽本数別面積構成比

単位：%

種 類	1～19本	20～39	40～59	60～79	80～99	100～149	150～199	200本以上
く り	11.3	49.1	30.9	6.9	0.9	0.6	0.1	0.2
日 本 な し	0.6	21.3	41.3	35.3	1.2	0.3	0.0	0.0
う め	8.2	46.6	29.9	10.5	3.0	1.5	0.3	0.0
か き	4.6	40.1	33.2	19.7	1.3	1.0	0.1	0.0
ぶ ど う	73.1	23.1	3.0	0.5	0.1	0.2	0.0	0.0
温 州 み か ん	0.2	2.7	7.3	16.9	21.2	41.3	7.7	2.7
り ん ご	59.3	35.7	3.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

5 施設及び農用機械の利用（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

スピードスプレヤーを利用した農家は1,921戸であり、

定置配管を利用した農家は543戸であった。うち薬剤散布に使用した定置配管は410戸(75.5%)、散水専用は80戸(14.7%)、多目的利用は53戸(9.8%)となっている。

表-6 施設及び農用機械の利用農家数

単位：戸、%

区分	定置配管			スピードスプレヤー
	多目的利用	薬剤散布用	散水専用	
実数	53	410	80	1,921
構成比	9.8	75.5	14.7	

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

6 出荷量（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

収穫量に対して出荷割合の大きい種類は日本なしであり97.2%が出荷されている。ぶどうは95.8%、かき95.2%、りんご95.1%、くり94.0%、温州みかん87.0%、うめ78.4%となった。出荷先別割合で見るとくりは集出荷

業者が約半数を取扱っており、日本なしは出荷組合が半数をこえる。かきは農協と出荷組合の取扱いが多く、うめは直販・その他と集出荷業者が多い。ぶどうは直販・その他と出荷組合で64.1%を占める。温州みかんとりんごは直販・その他が多く、次に観光販売が多い。

表-7 出荷量と出荷先別構成比

単位：kg、%

果樹種類	収穫量の出荷割合	出荷量	出荷先別割合				
			農協	出荷組合	集出荷組合	観光販売	直販・その他
くり	94.0	6,776,358	29.1	10.0	49.5	0.6	10.8
日本なし	97.2	28,914,654	31.3	52.3	8.1	1.1	7.2
かき	95.2	1,172,074	39.0	30.1	16.5	1.0	13.4
うめ	78.4	126,057	17.1	6.3	29.1	0.0	47.5
ぶどう	95.8	830,540	6.9	26.7	19.7	9.3	37.4
温州みかん	87.0	308,500	1.3	5.2	12.5	38.1	42.9
りんご	95.1	421,900	0.7	1.6	3.8	23.2	70.7

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

(県統計課 農林統計係)

## 人口は増加中

昭和51年(10月1日現在)の茨城県の総人口は2,378,220人、世帯数602,414世帯で、昭和32年と比べて人口では323,655人(増加率15.8%)、世帯数では214,892世帯(増加率55.5%)の増となっている。

人口が200万台になったのは、昭和22年であったが、昭和30年に入ってもその前後を停滞したままであった。増加のきざしがようやく見え始めたのは、昭和30年代の後半以後で、これは京浜地区からの工場の誘致や進出、鹿島工業地帯の開発、研究学園都市の建設等によったものであった。昭和44年によく210万台を突破した県人口は、その後順調に増え続け、昭和47年に220万台、昭和50年には230万台に達した。

特に鹿行、県南の両地域の増加はめざましい。鹿行地域は、昭和42年には人口増加率 $\Delta 0.0\%$ で県内唯一のマイナスを示し、自然増加率 $0.8\%$ 、社会増加率 $\Delta 0.8\%$ であったのに対し、昭和43年には人口増加率 $1.8\%$ 、自然増加率 $0.7\%$ 、そして社会増加率は $1.1\%$ と県内4地域で最高の人口増加率を示した。なかでも鹿島町で社会増加率が $9.4\%$ にも達したことが、鹿行地域の人口増をもたらした主要因であろうといわれ、鹿島開発の影響の強さを思わせるものであった。この影響によって、昭和43年～47年までの鹿行地域の人口増加率は、連続県内最高であり、しかも昭和45年の鹿島町では、人口増加率 $20.2\%$ 、社会増加率 $18.4\%$ を記録している。しかし昭和47年は、県南地域の人口が増加を見せて、人口増加率 $2.1\%$ で鹿行地域と同率首位を分けあった年でもあった。この年の社会増加率を比較すると、鹿行地域 $0.9\%$ 、県南地域 $1.0\%$ で、県南が鹿行を上回っていた。この傾向は翌48年にはっきりと現われ、人口増加率は県南地域 $2.7\%$ 、鹿行地域 $2.4\%$ で首位が入れ替ってしまったのである。そして昭和50年には人口増加率が $2.1\%$ (県南 $3.1\%$ )、社会増加率 $1.0\%$ (県南 $2.2\%$ )の鹿行地域が、51年には人口増加率 $1.0\%$ (県南 $2.7\%$ )、社会増加率 $\Delta 0.1\%$ (県南 $1.8\%$ )と、県北地域と並んで県内最下位を示すほどの落ちこみを見せたのである。とりわけ鹿島町の社会増加

率が、 $\Delta 1.3\%$ (50年 $4.1\%$ )と一挙にマイナスに転じている点が目立つ。これには、鹿島開発による人口流入が、事業の一応の終了により転出に転じたことと合せ、高度経済成長から安定成長へとなった経済事情などによるものと思われる。

県南地域の人口増加の要因としては、従来は取手市を中心としたベット・タウン化にあり、昭和44年には、取手市(当時は町制)は人口増加率 $19.9\%$ 、自然増加率 $1.7\%$ 、社会増加率 $18.2\%$ という大きな伸びを示した。これは、日本住宅公団「井野団地」の入居が同年6月から8月にかけて行われ、約5,000人(2,200世帯)の転入があったことによる。しかし、この分を差引いた人口増加率の試算でも $6.5\%$ となり、昭和43年の $6.2\%$ 、昭和45年の $6.0\%$ にほぼ匹敵している。

また、桜村では研究学園都市の建設に伴って、昭和46年に $0.5\%$ だった人口増加率(社会増加率 $\Delta 0.2\%$ )が、昭和47年には $6.1\%$ (社会増加率 $5.8\%$ )と大きく伸びている。また牛久町では団地の造成に伴って、 $7.0\%$ (社会増加率 $5.6\%$ )の伸びを示し、県内の市町村の首位にたった。昭和48年以降、県南地域の人口増加は著しく、それには昭和48年の人口増加率が、牛久町、千代田村、藤代町、桜村で、それぞれ $8.6\%$ 、 $6.8\%$ 、 $5.5\%$ 、 $5.3\%$ という高率を示していることが大きくひびいている。特に桜村が、昭和49年から昭和51年まで、それぞれ $17.1\%$ 、 $14.5\%$ 、 $15.6\%$ (社会増加率は $16.4\%$ 、 $14.5\%$ 、 $14.4\%$ )と3年連続県内のトップを占めており、研究学園都市に伴う人口増加の激しさを物語っているのが注目される。昭和51年中に社会増加が特に著しい6市町村のうち、5市町村が県南、1村が鹿行地域であるということが、県南地域の人口の急速な伸びを示している。全体としてみれば、県南地域の人口増加は、従来から東京の通勤圏としての機能によってなされてきていたのだが、交通事情の改善などに伴う通勤圏の拡大と、研究学園都市建設に伴う県外からの転入などによって、取手市、牛久町、葦崎村、藤代町、桜村等の社会増加が引き

# 茨城の20年

おこされ、近年の伸びになってきたものと思われる。

なお、県北・県西地域とも人口増加率は年々増加を示しているが、県南・鹿行に比べてその増加率は $\frac{1}{2}$ から $\frac{1}{3}$ 程度である。特に水戸市、勝田市は、人口増加数をみれば県内市町村のなかでもトップクラスにあり、人口増加率も2～4%程度であるが、県北山間部の過疎化が進んでいる地域が常にマイナスであるため、県北全体の人口増化率はそれほど大きくなっていないということに注意する必要がある。県西地域では、結城市は順調に人口が増加している。古河

市でも人口増加率はプラスを示しているが、それは社会増のマイナスを自然増加率が補っているからで、そのパターンとしては県北に多く見られる過疎市町村に類似している点に特徴がある。

県全体の人口は、今後も順調に増加していくことが予想されるが、一方で県北山間部と県南・鹿行地域との格差の拡大が一層問題になってくるとと思われる。

年次	世帯数	人口 (10月1日)			性比 (A/B×100) (女100に 対する男)	人口密度	人口移動	
		総数	男(A)	女(B)			自然増加	社会増加
昭和32年	387,522	2,054,565	1,000,889	1,053,676	95.0	338.0	—	—
33	390,438	2,050,881	998,941	1,051,940	95.0	337.4	—	—
34	399,057	2,046,733	996,201	1,050,532	94.8	336.7	—	—
35	409,465	2,047,024	1,000,184	1,046,840	95.5	336.2	—	—
36	411,416	2,055,254	1,006,720	1,048,534	96.0	337.6	15,608	△ 5,729
37	413,442	2,062,849	1,012,735	1,050,114	96.4	338.8	15,561	△ 9,911
38	415,939	2,064,914	1,013,535	1,051,379	96.4	339.2	16,747	△12,910
39	419,903	2,076,621	1,020,297	1,056,324	96.6	341.1	17,076	△ 9,369
40	447,871	2,056,154	1,007,852	1,048,302	96.1	337.7	17,914	△10,153
41	453,110	2,056,637	1,008,221	1,048,416	96.2	337.8	9,716	△10,490
42	460,405	2,071,277	1,016,757	1,054,520	96.4	340.2	20,887	△ 3,437
43	469,900	2,084,963	1,024,153	1,060,810	96.5	342.5	18,136	169
44	486,782	2,118,391	1,042,441	1,075,950	96.9	348.0	18,580	15,501
45	508,537	2,143,551	1,054,003	1,089,548	96.7	352.1	21,014	16,399
46	525,585	2,180,835	1,075,077	1,105,758	97.2	358.3	23,417	10,801
47	537,960	2,210,636	1,090,757	1,119,879	97.4	363.2	24,947	4,885
48	551,436	2,250,374	1,111,710	1,138,664	97.6	369.7	25,271	16,062
49	568,243	2,294,443	1,135,458	1,158,985	98.0	376.9	25,632	19,220
50	590,458	2,342,173	1,159,772	1,182,401	98.1	384.6	23,386	15,550
51	602,414	2,378,220	1,178,688	1,199,532	98.3	390.5	22,713	12,661

資料 統計課「人口と世帯年報」・「常住人口調査結果表」

注) 1. 人口密度算出の面積データは、昭和32年～34年は6,078.30km<sup>2</sup>、35～39年は6,087.92km<sup>2</sup>、40～44年は6,088.01km<sup>2</sup>、45～49年は6,087.20km<sup>2</sup>、50～51年は6,089.59km<sup>2</sup>である。

2. 世帯数・人口は各年の10月1日現在、人口移動は各年次の累計(1～12月)である。

(県統計課 企画調整係 伊藤)

## 常識

「常識」なることばを辞書で調べれば、「健全な社会人が、共通に持つ、普通の観念」とある。この「健全な社会人」なることばが、実は曲者である。何をもって、「健全」とするのか。私などは、毎日の生活が飲んだくれの生活であるから、「不健全」ということになる。すなわち、私の持つ普通の観念とは、さしずめ「非常識」であろうか。冗談はさて置いて、「常識」度のテストを一つしてみよう。

昔々、ある所に1人の羊飼がおりました。その羊飼は死ぬ前に、3人の息子たちに遺言を残しました。それは、後に残った41頭の羊を、長男は $\frac{1}{2}$ 、次男は $\frac{1}{3}$ 、三男は $\frac{1}{6}$ ずつ分配するように、というものでした。ところが、「常識」では、41頭の羊は $\frac{1}{2}$ にも $\frac{1}{3}$ にも、まして $\frac{1}{6}$ にもできません。困りきった3人の所に、近所の老人がやってきました。そして、連れてきた1頭の羊を41頭の羊に加えて42頭にする、長男には $\frac{1}{2}$ の21頭、次男には $\frac{1}{3}$ の14頭、三男には $\frac{1}{6}$ の7頭を分けてやりました。

$$21頭 + 14頭 + 7頭 = 42頭$$

ですので、残った1頭の羊を連れて、老人は帰って行きました。

やがて、長男は21頭の羊を元手に働いて、3人の息子をもうけました。ところが、長男は流行の病でポックリ亡くなってしまったのです。後には、彼の父が残してくれたのと同じ41頭の羊と3人の息子が残されました。遺言によると、41頭の羊は、3人の息子たちに、それぞれ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ 、 $\frac{1}{6}$ ずつ分配するようにと指示されてあります。しかし、今度の場合も分けることができません。そこで次男は、自分たちの時を思い出して、1頭の羊を連れて3人の息子たちの

所に行きました。そして42頭にする、それぞれに、21頭、14頭、7頭ずつに分けました。ところが、

$$21頭 + 14頭 + 7頭 = 42頭$$

ですので、次男の連れていった羊は戻ってきませんでした。

どうもこの話は、いわゆる「常識」で考えては理解しにくいようである。数学（算数？）の素養があれば、説明のつく問題なのだが、案外数学嫌いの多い世の中のことゆえ、混乱する人もあることだろう。すなわち、「常識」という奴は、どうも各人の素養＝各人の基礎となっている知識の集積によって左右されるらしい。数学的素養の有無が、この場合「常識」の有無のキー・ポイントになっている。私たちの社会と未開の社会、欧米と日本、アジアと日本、ひいては各県同士にも、この「常識」となる事象の差異はあるようである。「常識」とは、必ずしも万人に共通ではない、ということが「常識」といえようか。

統計にたずさわる私たちも、統計について知っている人と、いない人の間では、この統計についての「常識」が違ふということを忘れてはいけない。まして、調査をする時、調査を依頼する時、私たちにとっての「常識」に従って話を進めては、意外なところに盲点が生じて、後々大きな誤りを引起す原因ともなりかねない。注意して、しすぎることはあるまい。

（伊藤）

## 喫茶店が

# 日本一多い県は

喫茶店の最も多い都府県はどこでしょう。こんなクイズまがいのデータを通産省の商業統計からハジキだしてみると……。

むろん店数そのものでは、東京、大阪、愛知と人口に比例した順番になるが、喫茶店1店当たりの人口、つまり、人口割でみた喫茶店の分布は、最も過密なのが大阪で人口599人に1店、次いで高知(624人)、愛知(708人)、兵庫、東京、京都と続く。

逆に、最も少ないのは熊本で3,905人に1店、次いで鹿児島(3,695人)、埼玉(3,423人)あと山形、秋田、佐賀……。

ちなみに、本県の喫茶店数は928店。1店当たり人口は2,543人、全国の店数は85,911店、1店当たり人口は1,275人。

このへんでお茶でも——。がその一杯も最近はあまり気軽に味わえなくなってきた。もともとジワジワ値上りしていたところへコーヒー豆の霜害という強烈パンチが重なり、引きずられるように飲み物全般が上げ足加速、「息抜きの一杯」と呼ぶには、苦味、渋さがぐんと濃くなりそう。

コーヒー豆高騰のきっかけは、世界の生産量の3分の1を占めるといわれるブラジルでの霜害。

コーヒー豆は、日本の小豆と同じような相場商品。1昨年夏の霜害以来、値上りを見込んで相場は、いままも急上昇という。

コーヒー豆が日本の港に着いた時の価格は、1キロ当たり1,700円ほどで、霜害前に比べてざっと4倍にもはね上がっているという。

家庭で飲むレギュラーコーヒーは、すでに3回ほどのアップで霜害前に比べ約2倍に値上り。

インスタントコーヒーも、メーカーが昨秋2回目の値上げを発表。小売価格は在庫品もあってまたバラつきがあるが、100グラムびんで700~750円。

一杯に換算すると17~18円。

ちなみに、紅茶は、ティーバックで1人前10円、かん入りで6~7円。ココアは、1杯当たり24~25円。日本茶は1人1回分3グラムとすると15円につく。

(上沢)



# 1 主 要

## 茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高		百 貨 店 売 上 高	鉱 工 業 生 産 指 数 (総 合)	
	世 帯	人 口	増 加 率	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額			
	世 帯	人	%	億 円		千 枚	百 万 円	百 万 円	昭 45 年 = 100	
昭和49年	568 243	2 294 443	19.52	2 172	1 398	1 537	1 065 008	34 915	202.8	
50	590 459	2 342 173	16.68	3 385	1 472	1 618	1 127 165	41 237	201.2	
51	602 414	2 378 220	15.39	...	...	2 028	1 405 144	46 418	225.6	
51.3	594 063	2 357 092	△ 1.31	642	200	148	104 375	4 020	231.4	
4	593 837	2 354 010	2.80	194	14	139	105 964	3 496	233.1	
5	598 123	2 360 594	1.90	421	△ 135	141	97 022	3 332	229.0	
6	599 518	2 365 092	1.36	578	265	142	113 113	3 832	224.6	
7	600 575	2 368 307	1.21	184	200	154	111 384	4 353	252.3	
8	601 015	2 371 176	1.65	16	123	202	125 827	3 325	228.2	
9	601 764	2 375 088	1.32	553	191	201	128 214	3 305	225.0	
10	602 414	2 378 220	1.18	14	147	186	123 320	3 846	220.6	
11	603 315	2 381 016	1.39	657	6	218	140 063	3 819	224.7	
12	604 195	2 384 316	1.32	948	524	253	174 315	6 601	235.9	
52.1	604 857	2 387 470	1.10	r △ 659	r △ 140	182	141 675	3 939	213.7	
2	605 532	2 390 093	...	p △ 127	p 155	193	128 322	2 944	230.8	
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所						

## 全 国

年 月	人 口		銀 行 卷 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店 売 上 高	鉱 工 業 生 産 指 数 (総 合)
	人 口	増 加 率		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	千 人	%	億 円 (年 月 末)		千 枚	億 円	億 円	昭 45 年 = 100	
昭和49年	110 049	12.32	116 678	748 631	796 139	413 253	6 639 385	36 820	126.4
50	111 937	r 17.15	126 171	855 129	887 672	407 201	7 530 833	40 651	110.5
51	113 086	10.26	140 200	969 248	986 722	419 296	8 178 295	44 085	...
51.3	112 368	0.83	112 760	848 893	908 259	36 666	764 375	3 642	122.7
4	112 461	0.76	111 827	882 463	906 696	33 694	683 100	3 263	126.8
5	112 547	1.19	108 989	902 314	910 127	34 303	626 572	3 216	124.3
6	112 681	0.77	116 477	911 120	923 394	34 846	680 031	3 335	125.9
7	112 768	0.43	116 310	907 008	933 380	38 569	691 776	4 563	128.7
8	112 816	1.44	113 168	911 388	939 990	34 089	660 328	3 068	126.6
9	112 979	0.95	113 064	935 405	950 884	34 159	696 859	2 978	126.0
10	113 086	...	113 559	926 631	959 782	32 084	644 576	3 688	126.2
11	...	...	116 004	952 088	964 698	36 840	715 008	3 726	129.4
12	...	...	140 200	969 248	986 722	43 806	857 376	7 004	r 129.4
52.1	...	...	120 364	949 787	987 146	30 412	669 507	3 064	129.5
2	...	...	123 404	953 326	992 906	32 609	647 998	2 899	p 128.5
資 料	総 理 府 統 計 局		日 本 銀 行 統 計 局						通 産 省

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在。  
 全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。

# 指 標

## 茨 城 県

調査平均 産業賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市) (勤労者)	産 業 用 電力消費量 (50KW以上)	建 築 着 工		年 月	
							サ ー ビ ス 業 を 含 む	工 事 費 額		床 面 積
…	86.6	100.1	※1.46	89.5	142 806	※ 3 149 395	r 358 695	5 639	昭和49年	
166 470	100.0	100.0	※0.81	100.0	158 185	※ 3 730 588	r 400 541	r 5 360	50	
186 008	113.2	102.3	※1.04	109.1	…	…	389 268	5 520	51	
162 290	97.0	101.6	0.97	105.9	162 146	360 276	40 856	5 13	51.3	
136 086	83.2	103.4	1.02	107.6	162 477	354 835	32 629	495	4	
142 786	87.3	103.4	1.01	108.5	162 927	376 830	35 344	507	5	
291 919	178.4	103.3	1.01	109.5	161 161	364 082	35 122	495	6	
217 042	132.7	102.6	1.06	109.6	177 208	398 867	33 737	482	7	
143 861	87.9	102.5	1.08	108.0	173 365	356 234	30 969	457	8	
142 446	87.1	102.1	1.13	111.5	168 271	360 108	31 678	439	9	
144 702	88.4	102.0	1.16	112.5	179 676	391 199	37 361	551	10	
150 179	91.8	102.4	1.13	112.0	186 415	367 176	29 903	395	11	
431 781	263.9	102.4	1.00	112.7	306 153	369 319	35 247	497	12	
r 146 584	89.6	102.1	1.01	115.4	203 149	348 824	…	…	.1	
145 322	88.8	102.2	0.98	115.4	…	…	…	…	52.2	
県 統 計 課			県 職 業 安 定 課	県 統 計 課		東 京 電 力 茨 城 支 店	建 築 指 導 課		資 料	

## 全 国

調査平均 産業賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数	家計消費支出 (勤労者)	産 業 用 大 口 電力消費量	建 築 着 工		年 月	
							サ ー ビ ス 業 を 含 む	工 事 費 額		床 面 積
154 967	87.1	102.0	1.20	89.4	142 203	※ 165 516	136 274	198 557	昭和49年	
177 213	100.0	100.0	r 0.61	100.0	166 032	※ 164 836	146 766	196 292	50	
r 200 242	112.8	r 98.3	r 0.64	109.3	…	…	…	…	51	
157 896	89.2	97.4	r 0.64	106.0	186 078	14 534	12 296	16 807	51.3	
150 937	84.6	99.4	r 0.64	108.6	173 452	14 063	13 243	18 203	4	
149 525	83.9	99.1	r 0.63	108.9	164 305	14 293	12 527	17 007	5	
270 428	151.7	98.9	0.65	109.1	177 402	15 084	14 230	19 187	6	
274 889	154.2	r 98.7	0.67	109.7	192 508	15 690	17 058	22 530	7	
168 823	94.7	r 98.2	0.67	108.8	179 311	14 913	15 489	20 122	8	
153 406	86.0	r 98.1	r 0.66	111.7	162 523	15 056	14 189	18 285	9	
157 431	88.3	r 98.1	r 0.64	112.4	173 493	15 326	14 017	18 028	10	
166 443	93.3	r 98.1	r 0.62	112.4	172 512	15 021	13 371	17 292	11	
r 472 868	r 265.2	r 97.9	r 0.63	113.6	280 128	14 990	14 976	18 811	12	
162 077	90.9	p 97.2	0.62	114.7	…	14 371	12 653	15 723	52.1	
156 903	88.0	p 96.8	0.60	115.3	…	p 14 044	…	…	2	
労 働 省				総 理 府 統 計 局		通 産 省	建 設 省		資 料	



## 2 人 口

2-1 世帯、人口および人口移動

(単位：世帯、人)

年月日	世帯数	人 口			増減数	人 口 移 動				
		総 数	男	女		自然動態		社 会 動 態		外国人 増 減
						出 生	死 亡	転 入	転 出	
49.10.1	568 243	2 294 443	1 135 458	1 158 985	44 794	42 619	16 897	134 347	115 127	△ 58
50.10.1	590 459	2 342 173	1 159 772	1 182 401	39 059	40 027	16 641	129 716	114 166	123
51.10.1	602 414	2 378 220	1 178 688	1 199 532	35 593	39 596	16 645	124 726	112 044	△ 40
51.4.1	593 837	2 354 010	1 165 727	1 188 283	△3 082	3 341	1 494	17 506	22 443	8
5.1	598 123	2 360 594	1 169 433	1 119 161	6 584	3 265	1 332	19 448	14 777	△ 20
6.1	599 518	2 365 092	1 172 089	1 193 003	4 498	3 316	1 391	11 011	8 410	△ 28
7.1	600 575	2 368 307	1 173 837	1 194 470	3 215	3 119	1 170	8 367	7 076	△ 25
8.1	601 015	2 371 176	1 175 197	1 195 979	2 869	3 313	1 213	8 016	7 265	18
9.1	601 764	2 375 088	1 177 118	1 197 970	3 912	3 353	1 159	9 363	7 674	29
10.1	602 414	2 378 220	1 178 688	1 199 532	3 132	3 249	1 172	7 729	6 687	13
11.1	603 315	2 381 016	1 180 265	1 200 751	2 796	3 196	1 236	8 360	7 494	△ 30
12.1	604 195	2 384 316	1 182 070	1 202 246	3 300	3 304	1 452	9 264	7 835	19
52.1.1	604 857	2 387 470	1 183 618	1 203 852	3 154	3 308	1 504	9 396	7 986	△ 60
2.1	605 532	2 390 093	1 185 031	1 205 062	2 623	3 231	1 660	7 936	6 914	30
3.1	606 248	2 392 386	1 186 316	1 206 070	2 293	2 919	1 529	8 120	7 250	33

資料：県統計課

- (注) 人口移動のうち (1) 昭和49年～昭和51年については各年の年間数値を示す。  
 (2) 昭和51年～昭和52年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

昭和50年10月1日の世帯数、人口については、国勢調査の概数である。

2-2 市町村別人口と世帯

(単位：人、世帯)

市 町 村	昭和50年 10月1日 人口総数	52 年 3 月 1 日			市 町 村	昭和50年 10月1日 人口総数	52 年 3 月 1 日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
<b>総 数</b>	<b>2 342 173</b>	<b>2 392 386</b>	<b>2 260</b>	<b>606 248</b>	竜ヶ崎市	40 569	41 237	38	10 669
<b>市 部</b>	<b>1 160 359</b>	<b>1 182 894</b>	<b>1 086</b>	<b>320 518</b>	那珂湊市	33 144	33 217	△ 6	8 460
<b>郡 部</b>	<b>1 181 813</b>	<b>1 209 492</b>	<b>1 174</b>	<b>285 730</b>	下妻市	29 234	29 734	31	7 103
水戸市	197 950	203 152	187	62 083	水海道市	38 820	39 331	63	9 340
日立市	202 387	202 365	158	56 121	常陸太田市	35 322	35 729	52	9 153
土浦市	104 031	106 574	144	29 924	勝田市	79 997	82 885	180	21 798
古河市	55 971	55 920	△ 29	15 238	高萩市	30 982	31 451	△ 100	8 645
石岡市	43 678	44 895	17	11 940	北茨城市	44 332	44 775	2	11 798
下館市	57 778	58 760	50	14 639	笠間市	30 908	30 999	10	7 651
結城市	44 130	45 763	137	11 045	取手市	52 821	57 108	91	16 218
					岩井市	38 305	38 999	61	8 693

市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年3月1日			市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年3月1日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
<b>東茨城郡</b>	<b>132 347</b>	<b>134 180</b>	<b>20</b>	<b>32 175</b>	<b>稲敷郡</b>	<b>126 946</b>	<b>131 780</b>	<b>109</b>	<b>31 717</b>
常澄村	9 247	9 363	△ 9	2 054	江戸崎町	12 175	12 361	2	3 004
茨城町	30 565	31 218	△ 24	7 189	美浦村	8 161	8 327	24	1 920
小川町	17 250	17 587	47	4 136	阿見町	29 738	30 770	32	7 830
美野里町	17 160	17 861	49	4 282	牛久町	27 674	30 007	74	7 807
内原町	13 658	13 897	△ 84	3 097	莩崎村	8 305	9 320	1	2 226
常北町	10 551	10 606	22	2 690	新利根村	8 590	8 618	△ 12	1 887
桂村	6 897	6 856	7	1 760	河内村	11 657	11 639	—	2 535
御前山村	5 356	5 308	△ 1	1 341	桜川村	7 865	7 872	△ 5	1 787
大洗町	21 663	21 484	13	5 626	東村	12 781	12 866	△ 7	2 721
<b>西茨城郡</b>	<b>64 502</b>	<b>65 589</b>	<b>29</b>	<b>15 713</b>	<b>新治郡</b>	<b>92 761</b>	<b>96 906</b>	<b>168</b>	<b>22 225</b>
友部町	24 146	24 903	31	6 145	出島村	17 152	17 285	8	3 993
岩間町	15 012	15 234	△ 1	3 654	玉里村	6 126	6 347	△ 4	1 445
七会村	3 015	2 977	△ 1	673	八郷町	27 487	27 652	△ 1	6 069
岩瀬町	22 329	22 475	—	5 241	千代田村	18 634	19 178	42	4 777
<b>那珂郡</b>	<b>111 758</b>	<b>114 072</b>	<b>246</b>	<b>28 854</b>	新治村	8 548	8 603	13	1 992
東海村	25 151	26 391	56	6 633	桜村	14 814	17 841	110	3 949
那珂町	34 213	35 376	152	9 034	<b>筑波郡</b>	<b>91 789</b>	<b>94 190</b>	<b>157</b>	<b>21 796</b>
瓜連町	7 117	7 121	15	1 710	谷田部町	22 225	22 889	33	5 371
大宮町	23 488	23 736	25	6 090	伊奈村	15 250	16 359	74	3 832
山方町	9 864	9 723	2	2 487	谷和原村	10 152	10 227	2	2 233
美和村	6 150	6 061	△ 2	1 440	豊里町	10 898	10 938	17	2 440
緒川村	5 775	5 664	△ 2	1 460	筑波町	22 011	22 219	12	5 244
<b>久慈郡</b>	<b>55 969</b>	<b>55 292</b>	<b>△ 54</b>	<b>13 681</b>	大穂町	11 253	11 558	19	2 676
金砂郷村	11 310	11 183	△ 8	2 723	<b>真壁郡</b>	<b>74 368</b>	<b>75 714</b>	<b>40</b>	<b>17 192</b>
水府村	8 284	8 183	△ 21	1 996	関城町	17 838	15 139	22	3 336
里美村	5 508	5 423	△ 17	1 351	明野町	16 518	16 978	△ 4	3 871
大子町	30 867	30 503	△ 8	7 611	真壁町	20 685	20 740	20	4 879
<b>多賀郡</b>	<b>10 127</b>	<b>10 599</b>	<b>△ 6</b>	<b>2 705</b>	大和村	7 320	7 386	2	1 579
十王町	10 127	10 599	△ 6	2 705	協和町	15 007	15 471	—	3 527
<b>鹿島郡</b>	<b>157 291</b>	<b>160 431</b>	<b>190</b>	<b>38 340</b>	<b>結城郡</b>	<b>49 507</b>	<b>50 353</b>	<b>44</b>	<b>10 959</b>
旭村	10 213	10 258	15	2 208	八千代町	22 161	22 349	26	4 645
鉾田町	26 641	26 877	16	6 437	千代川村	8 126	8 295	28	1 844
大洋村	9 517	9 585	20	2 156	石下町	19 220	19 709	△ 10	4 470
大野村	11 104	11 812	3	2 724	<b>猿島郡</b>	<b>100 052</b>	<b>102 708</b>	<b>130</b>	<b>22 396</b>
鹿島町	37 128	37 719	62	9 173	総和町	32 073	33 245	24	7 541
神栖町	29 972	30 833	39	7 790	五霞村	8 634	8 602	8	1 699
波崎町	32 716	33 347	35	7 852	三和町	20 841	21 972	68	4 779
<b>行方郡</b>	<b>69 981</b>	<b>70 641</b>	<b>32</b>	<b>16 642</b>	猿島町	14 157	14 255	△ 3	2 832
麻生町	18 195	18 225	△ 16	4 120	境町	24 347	24 634	33	5 545
牛堀町	6 838	6 866	11	1 655	<b>北相馬郡</b>	<b>44 416</b>	<b>47 037</b>	<b>69</b>	<b>11 335</b>
潮来町	20 670	21 077	14	5 301	守谷町	14 506	15 497	21	3 728
北浦村	10 919	11 039	2	2 498	藤代町	20 407	21 737	53	5 345
玉造町	13 359	13 434	21	3 068	利根町	9 503	9 803	△ 5	2 262

(注) (1) 50年10月1日については国勢調査の概数である。

(2) 「人口増加」は住民基本台帳に基づいたもので、外国人は含まない。

資料：県統計課

### 3 労働

#### 3-1 産業別賃金指数

(昭和50年=100)

年 月	調 査 産 業 計		建 設 業	製 造 業	卸 売 小 売 業	金 融 保 險 業	運 輸 通 信 業	電 気・ガ ス 水 道 熱 供 給 業	サ ー ビ ス 業
	サ ー ビ ス 業 を 含 む	サ ー ビ ス 業 を 除 く							
昭和49年	86.6	87.0	88.3	88.2	90.5	77.8	83.4	81.6	87.3
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	113.2	112.8	105.6	112.6	114.8	121.5	113.8	109.0	114.0
51.4	83.2	83.6	86.3	83.9	88.1	75.1	83.2	76.4	81.2
5	87.3	88.2	88.7	89.6	88.2	76.6	85.5	90.1	83.4
6	178.4	172.2	118.4	171.1	136.8	211.2	192.7	234.1	197.5
7	132.7	145.9	160.5	148.4	183.0	154.8	116.6	79.5	87.0
8	87.9	89.8	88.0	90.5	95.5	83.9	89.0	80.0	80.8
9	87.1	88.7	82.0	89.3	89.9	83.2	91.8	80.5	80.9
10	88.4	90.0	80.5	90.3	92.6	84.7	94.8	81.5	82.4
11	91.8	92.5	86.0	91.3	91.2	85.1	107.9	81.7	88.6
12	263.9	257.1	220.6	252.5	260.4	362.1	257.5	271.2	284.3
52.1	89.6	89.2	82.2	89.6	92.8	86.5	91.2	83.8	90.3
2	88.8	89.3	82.4	89.2	96.7	83.3	92.3	84.2	86.6
3	95.4	90.8	81.2	88.8	94.2	92.1	104.1	92.7	110.2

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

#### 3-2 産業別雇用指数

(昭和50年=100)

年 月	調 査 産 業 計		建 設 業	製 造 業	卸 売 小 売 業	金 融 保 險 業	運 輸 通 信 業	電 気・ガ ス 水 道 熱 供 給 業	サ ー ビ ス 業
	サ ー ビ ス 業 を 含 む	サ ー ビ ス 業 を 除 く							
昭和49年	100.1	102.5	112.2	103.4	101.1	97.0	96.1	92.1	—
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	102.3	101.5	91.5	101.0	111.2	93.3	104.0	103.3	106.1
51.4	103.4	102.6	96.4	101.2	111.7	103.4	106.1	104.9	106.8
5	103.4	102.3	94.4	101.1	111.5	103.0	105.7	104.9	108.0
6	103.3	102.3	93.1	101.5	112.6	96.0	105.3	104.1	107.7
7	102.6	101.6	96.9	101.2	112.7	87.2	102.3	104.2	107.0
8	102.5	101.6	95.6	101.4	112.6	87.2	101.9	103.8	106.6
9	102.1	101.1	89.4	101.2	111.9	86.6	102.3	103.7	106.2
10	102.0	100.9	82.2	101.2	113.0	87.2	103.1	103.6	106.5
11	102.4	101.3	82.1	101.8	113.1	86.0	103.1	103.5	107.2
12	102.4	101.5	82.8	102.0	113.3	85.5	103.2	103.4	106.3
52.1	102.1	101.3	94.5	101.3	111.5	84.2	102.3	103.3	105.6
2	102.2	101.4	94.7	101.6	110.4	83.9	102.2	102.8	106.1
3	102.2	101.3	94.7	101.4	110.9	83.3	102.9	102.6	106.2

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

### 3-3 労働時間

(単位：1人1カ月当たり、時間)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 險 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業	所 定 内 労 働 時 間 調査産業計 (サービス 業を含む)
	サービス 業を含む	サービス 業を除く								
昭和49年	176.4	177.5	198.4	173.3	183.3	156.1	196.8	170.2	176.4	163.7
50	171.5	171.0	189.9	166.3	182.3	158.0	185.0	167.6	173.7	161.9
51	179.6	178.9	187.9	177.2	174.5	164.1	195.8	167.3	182.5	165.9
51.4	185.0	184.2	192.3	182.4	181.6	171.6	200.3	172.9	188.3	171.3
5	172.9	170.1	177.7	167.6	165.1	162.3	191.8	157.4	184.7	159.8
6	187.9	186.2	187.2	185.3	177.8	168.9	206.8	176.6	194.9	173.5
7	186.6	186.3	189.9	185.7	177.4	173.7	202.0	179.2	188.1	172.3
8	174.6	172.9	181.2	169.8	171.7	162.9	193.9	167.2	181.8	161.4
9	181.8	181.6	185.2	181.7	171.2	162.5	198.0	161.2	182.5	167.3
10	180.1	178.9	179.2	177.9	167.6	160.3	203.2	165.2	185.5	165.4
11	186.1	186.1	192.2	186.9	174.6	161.5	201.1	161.7	185.7	171.0
12	105.7	106.9	105.0	107.7	100.5	110.9	109.2	103.6	100.8	103.0
52.1	168.1	166.9	187.6	162.6	168.3	155.5	187.6	160.9	173.7	155.7
2	179.5	179.3	194.0	178.9	172.0	151.1	194.5	156.2	180.7	165.0
3	177.2	175.4	191.3	172.5	162.2	171.3	199.8	173.3	184.9	162.4

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

### 3-4 職業紹介

(単位：件)

年 月	一 般 職 業 紹 介 (パートタイムを含まない)						
	新規求人数 (A)	新 規 求 職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就 職 件 数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
昭和49年度	70 871	51 939	16 958	11 601	21 859	1.37	1.46
50	62 967	50 505	13 700	16 924	17 544	1.25	0.81
51	69 458	51 684	17 109	16 325	17 732	1.34	1.04
51.4	6 613	5 243	18 075	17 790	1 626	1.26	1.01
5	5 640	4 299	17 648	17 474	1 377	1.31	1.00
6	5 814	4 083	17 243	17 134	1 487	1.43	1.00
7	6 289	4 098	17 919	16 832	1 526	1.53	1.06
8	6 945	4 188	17 834	16 548	1 397	1.66	1.07
9	7 347	4 313	18 799	16 589	1 541	1.70	1.13
10	6 107	3 977	18 584	15 983	1 459	1.54	1.16
11	4 652	3 618	17 298	15 351	1 383	1.29	1.12
12	3 351	3 205	14 514	14 452	1 167	1.05	1.00
52.1	6 433	5 106	15 703	15 607	1 583	1.26	1.00
2	4 847	4 585	15 583	15 953	1 528	1.06	0.97
3	5 420	4 969	16 113	16 189	1 658	1.09	0.99

(注) 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課

# 4 農 業

農産物の平均販売価格

(単位：円)

年 月	うるち米 (自由売) (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	豚 肉 (生体10kg)	肉 用 牛 (去勢肥育) (和牛・壮令)	乳 用 牛 (めす、生後 6カ月 ホルスタイン 純種)	ブロイラー (生体10kg)
昭和49年12月末	13 522	885	3 340	4 101	9 000	69 000	2 917
50	13 667	936	2 765	4 780	10 450	101 667	3 517
51	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
51.5	13 750	1 049	2 353	4 550	9 850	100 000	3 083
6	13 500	1 052	2 310	4 804	9 850	100 000	3 000
7	14 167	1 050	2 527	4 745	9 900	100 000	2 967
8	14 000	1 046	2 405	4 425	9 900	93 333	3 067
9	15 233	1 047	2 680	4 167	9 950	93 333	3 100
10	15 400	1 049	2 680	3 513	9 950	86 667	3 100
11	16 067	1 047	2 539	3 286	10 000	83 333	3 117
12	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
52.1	16 200	1 016	2 895	3 302	10 000	83 333	3 167
2	16 200	1 021	3 195	3 819	10 100	76 667	3 167
3	16 200	1 024	3 320	4 162	10 150	76 667	3 217
4	...	...	...	...	...	...	...

年 月	だいこん (1kg)	にんじん (1kg)	はくさい (1kg)	キャベツ (1kg)	な す (1kg)	きゅうり (1kg)	ピーマン (1kg)
昭和49年12月末	26	53	25	30	373	315	329
50	40	69	23	105	423	358	306
51	27	30	16	32	409	370	321
51.5	55	133	61	65	281	166	295
6	44	123	63	40	297	149	286
7	38	127	39	47	137	85	194
8	51	102	58	18	105	131	100
9	65	94	63	32	144	151	131
10	37	54	30	24	166	156	241
11	24	43	17	27	448	233	308
12	27	30	16	32	409	370	321
52.1	34	36	28	74	373	254	341
2	46	38	37	122	367	288	527
3	44	33	34	91	352	234	338
4	61	44	49	85	346	197	273

(注) (1) 価格は、それぞれの代表生産地における価格である。  
 (2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。

資料：農林省茨城統計情報事務所  
 水戸市公設地方卸売市場

# 5 鋳 工 業

## 鋳工業生産指数

(昭和45年=100)

年 月	鋳工業生産指数										
	産業総合	公益事業	鋳工業	鋳業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	機械工業	一般機械	電気機械
	品目数109	2	107	6	101	9	5	5	41	7	26
	ウェイト 10 000.0	228.2	9 771.8	144.1	9 627.7	567.6	1 201.1	355.3	4 523.4	1 161.7	2 938.3
昭和49年	202.8	2 143.7	157.5	45.7	159.2	352.2	124.4	200.4	124.3	168.8	111.8
50	201.2	2 685.8	143.2	55.0	144.5	309.6	98.4	200.8	116.7	189.8	95.8
51	225.6	2 558.4	171.1	50.0	172.9	361.2	132.7	205.8	156.7	284.8	119.5
51.3	231.4	2 533.2	177.6	54.7	179.4	325.3	138.6	210.0	175.4	339.8	126.1
4	233.1	2 416.8	182.1	47.4	184.1	313.5	150.0	216.7	175.6	376.8	113.3
5	229.0	1 989.5	187.9	46.4	190.0	357.8	141.6	213.8	181.1	403.4	112.3
6	224.6	2 438.0	172.9	46.8	174.8	377.4	143.7	192.0	160.5	305.9	117.0
7	252.3	2 770.3	193.5	49.1	195.7	403.3	147.5	190.7	185.1	362.0	131.4
8	228.2	2 777.0	168.6	47.4	170.5	385.1	123.5	184.2	139.1	251.1	105.7
9	225.0	2 476.3	172.4	50.2	174.2	358.5	131.2	215.8	159.6	235.0	140.4
10	220.6	2 686.8	163.0	46.8	164.7	421.1	140.3	211.3	130.7	195.3	115.2
11	224.7	2 727.8	166.2	53.7	167.9	395.0	114.1	222.0	146.6	206.0	134.3
12	235.9	2 794.1	176.2	54.7	178.0	400.2	135.7	239.0	148.6	239.3	125.8
52.1	213.7	2 832.2	152.6	51.4	154.1	372.7	128.6	472.9	121.2	169.0	113.7
2	230.8	3 218.7	161.0	57.6	162.5	327.5	133.0	485.0	127.9	186.7	115.0

年 月	鋳工業										
	製 造 工 業										
	機 械 工 業		窯 業 土 製品工業	化学工業	石 油 石 炭 製 品工業	パ ル プ 紙 ・ 紙 工 品工業	繊 維工業	木 材 製 品工業	食 料 工 品工業	品 ば こ 業	そ の 他 工 業
	輸送機械	精密機械									
	品目数 5	3	2	18	2	2	3	1	7	6	
	ウェイト 273.7	149.7	627.6	157.1	168.7	162.2	130.4	246.9	779.0	708.4	
昭和49年	114.3	41.0	109.8	598.7	248.0	145.4	94.5	93.5	248.8	130.1	
50	85.0	16.9	107.2	567.9	240.9	153.3	87.6	91.9	235.3	87.4	
51	84.7	25.6	116.4	648.0	241.8	202.5	83.4	119.9	226.9	73.8	
51.3	91.2	22.4	124.6	755.5	278.6	225.8	92.2	125.1	180.4	62.5	
4	79.5	13.8	103.3	779.8	281.0	201.4	85.5	138.0	233.7	67.9	
5	66.2	16.9	106.1	802.4	281.4	217.8	82.4	129.5	250.5	67.3	
6	89.4	15.4	107.7	286.8	159.3	201.5	93.8	112.1	309.4	68.6	
7	101.2	18.5	123.2	545.1	140.0	211.2	89.6	120.2	344.3	59.9	
8	85.6	25.2	110.9	760.6	263.5	194.1	82.3	120.6	278.3	80.4	
9	109.7	43.0	113.2	728.3	225.8	209.0	78.3	116.4	210.4	80.7	
10	72.0	40.1	118.9	694.0	255.4	221.3	77.1	99.3	195.6	88.4	
11	83.6	42.6	124.1	656.4	260.3	195.7	75.2	110.8	201.3	88.5	
12	70.8	36.4	135.7	658.8	284.2	191.6	77.8	127.1	246.7	91.5	
52.1	46.5	33.7	73.9	690.8	252.0	185.9	55.3	121.3	108.4	73.3	
2	69.1	32.4	125.8	680.3	253.9	195.1	66.3	118.7	147.2	78.6	

資料：県統計課

## 6 建築

建築主別建築着工

(単位：百万円、千㎡)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会 社 其 他 の 法 人		個 人	
	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額
昭和49年	5 639	358 695	811	74 969	1 864	114 639	2 964	169 088
50	5 360	400 541	961	118 801	1 391	96 043	3 007	185 696
51	5 520	389 268	802	84 178	1 443	99 371	3 275	205 719
51.1	305	20 826	47	4 197	72	4 998	186	11 631
2	383	25 596	35	3 947	90	5 481	258	16 169
3	513	40 856	113	16 747	110	6 537	290	17 571
4	495	32 629	70	6 110	115	7 353	310	19 166
5	507	35 344	78	8 140	152	10 417	277	16 787
6	495	35 122	74	7 450	145	10 155	276	17 517
7	482	33 737	56	6 459	83	5 252	343	22 026
8	457	30 969	50	4 813	123	8 268	284	17 888
9	439	31 678	85	8 360	121	8 566	233	14 752
10	551	37 361	71	5 783	230	16 502	250	15 076
11	395	29 903	60	6 023	104	8 975	231	14 905
12	497	35 247	63	6 149	98	6 869	336	22 229

(注) 官公庁とは、国、都道府県、市町村を加えたものである。

資料：県建築指導課

## 7 電 力

産業別電力消費量

(単位：MWH)

年度・月	総 数	農林・水産 養 殖 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	運 輸 通 信 業	電 気・ガ 斯 水 道 業	そ の 他 の 産 業
昭和48年度	3 682 864	6 264	54 695	46 124	3 266 680	135 770	86 909	86 422
49	3 149 395	5 755	49 734	34 524	2 717 440	140 085	98 370	103 487
50	3 730 583	4 956	48 650	41 317	3 253 192	149 494	104 476	128 498
51.2	348 881	470	4 092	3 833	304 534	13 501	8 746	13 705
3	360 276	504	4 290	3 860	315 181	13 482	9 031	13 928
4	354 835	479	3 988	3 158	311 997	11 970	8 832	14 411
5	376 830	458	4 087	2 701	333 981	12 464	9 176	13 963
6	364 052	382	4 240	2 652	320 572	11 965	8 527	15 714
7	398 867	385	4 258	3 020	353 310	12 720	8 932	16 242
8	356 234	441	4 163	3 028	311 177	13 347	9 631	14 447
9	360 108	478	4 247	3 218	316 594	12 374	9 228	13 969
10	391 199	422	4 388	3 081	347 299	12 663	9 019	14 327
11	367 176	418	4 331	3 174	320 493	12 785	8 796	17 179
12	369 319	485	4 397	3 404	320 385	14 007	9 114	17 527
52.1	348 824	586	4 470	3 296	298 969	14 221	9 655	17 627

(注) 数値は東京電力茨城支店の50KW以上の電力販売量である。なお、東電以外の自家発電は含まれない。資料：東京電力茨城支店

# 8 金 融

金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和49年末	17 392	10 705	9 829	5 624	1 934	1 396	1 703	1 264	1 283	934
50	20 715	12 177	11 745	6 357	2 240	1 614	2 005	1 453	1 488	1 076
51	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
51.3	20 789	12 418	12 051	6 487	2 236	1 667	1 988	1 470	1 477	1 086
4	20 595	12 433	11 859	6 509	2 227	1 660	2 017	1 468	1 474	1 072
5	21 017	12 299	12 217	6 320	2 255	1 663	2 043	1 483	1 489	1 079
6	21 597	12 564	12 548	6 486	2 359	1 703	2 083	1 505	1 520	1 094
7	21 771	12 756	12 560	6 578	2 329	1 718	2 115	1 538	1 535	1 114
8	21 787	12 879	12 575	6 644	2 339	1 725	2 142	1 555	1 551	1 132
9	22 340	13 070	12 936	6 722	2 427	1 762	2 147	1 570	1 587	1 167
10	22 355	13 217	12 752	6 816	2 386	1 774	2 163	1 595	1 588	1 167
11	23 011	13 223	13 261	6 808	2 403	1 761	2 196	1 630	1 604	1 191
12	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
52.1	23 300	13 606	13 250	7 056	2 449	1 797	2 296	1 678	1 671	1 233
2	23 183	13 779	13 209	7 133	2 439	1 820	2 289	1 703	1 667	1 254

年 月	労 金		商 工 中 金		農 協		漁 協		郵 便 貯 金 (総額には含まない)
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	
昭和49年末	228	187	71	221	2 308	1 003	37	77	453
50	296	213	88	286	2 808	1 099	45	79	449
51	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
51.3	304	219	86	285	2 588	1 118	60	85	283
4	305	220	91	290	2 576	1 135	47	79	290
5	304	221	101	297	2 559	1 159	50	76	245
6	329	222	100	307	2 605	1 174	52	72	338
7	349	229	94	315	2 745	1 190	53	75	335
8	337	231	96	320	2 696	1 198	51	74	249
9	337	236	99	327	2 756	1 213	52	72	250
10	339	243	106	334	2 963	1 216	57	70	283
11	341	247	114	347	2 030	1 172	61	67	261
12	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
52.1	383	253	100	345	3 099	1 166	54	78	299
2	383	259	110	347	3 031	1 182	56	82	236

資料：日本銀行水戸事務所  
水戸郵便局調査課



# 9 物 価

水戸市の消費者物価指数

(昭和50年=100)

年 月	総 合	対 前 年		食 料	食 料		住 居	光 熱	被 服
		上 昇 率 (%)	(同月) 上 昇 率 (%)		う ち 主 食	副 食 品			
昭和49年	89.5	—	25.8	88.4	84.8	91.4	91.3	85.8	97.0
50	100.0	—	11.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	109.1	—	9.1	109.1	111.5	109.0	106.1	106.3	109.1
51.3	105.9	0.1	8.1	107.5	108.6	108.8	103.3	101.9	101.4
4	107.6	1.6	8.4	108.9	108.6	112.2	104.9	101.9	102.2
5	108.5	0.8	8.6	107.9	108.6	109.1	105.4	102.0	110.5
6	109.5	0.9	9.7	108.5	109.2	107.2	105.8	102.0	114.6
7	109.6	0.1	9.2	109.1	109.3	106.7	106.8	105.2	112.5
8	108.0	△ 1.5	8.0	106.7	110.2	105.2	107.1	105.3	105.4
9	111.5	3.2	10.0	112.3	117.0	111.4	108.1	113.1	111.8
10	112.5	0.9	8.8	113.3	117.2	110.0	108.8	113.1	114.2
11	112.0	△ 0.4	9.2	110.9	118.6	108.0	108.9	113.1	115.0
12	112.7	0.6	9.4	109.8	118.5	107.0	109.0	113.3	113.7
52.1	115.4	2.4	9.5	116.1	118.6	113.9	109.3	113.3	112.7
2	115.4	0.0	9.1	115.8	118.6	117.3	109.6	113.3	112.2

年 月	雑 費	う ち		交 通 信	自 動 車 等 関 係 費	教 育	文 房 具	教 養 娯 楽
		保 健 医 療	理 容 衛 生					
昭和49年	87.1	88.4	90.1	84.9	91.0	81.2	95.5	85.8
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	110.2	105.1	111.3	110.3	102.9	120.6	103.7	107.9
51.3	106.9	101.2	107.3	106.6	102.3	105.2	103.3	106.8
4	109.9	106.0	110.1	106.6	102.0	125.5	103.3	107.9
5	110.2	106.0	110.2	106.6	102.1	125.5	102.5	108.5
6	110.6	106.0	111.1	106.6	102.1	125.5	102.5	109.1
7	110.4	106.0	110.9	106.6	105.1	125.5	104.4	107.4
8	111.2	106.0	111.2	106.6	104.7	125.5	104.4	109.5
9	111.2	106.0	113.7	106.6	103.4	125.5	104.4	109.4
10	111.6	106.6	113.7	106.6	103.4	126.1	104.4	110.2
11	112.8	107.2	116.0	115.9	102.7	126.1	104.4	109.5
12	117.0	107.2	116.3	144.9	102.1	126.1	104.4	109.9
52.1	117.6	107.2	122.9	144.9	102.4	126.1	108.4	109.6
2	118.2	108.6	122.9	144.9	102.4	126.1	111.9	110.7

資料：県統計課

## 10 経 済

年 月	財政資金(百万円)		銀行券受払高(百万円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不渡手形 (枚)	信用保証(件)		証券取引高(百万円)	
	取 入	支 払	受 入	払 渡			保証承諾	代位弁済	株 式	公 社 債
昭和49年	356 807	421 391	364 271	400 205	1 537	10 273	18 923	207	169 051	81 326
50	399 675	514 349	406 359	446 955	1 618	10 724	22 466	317	178 379	69 862
51	440 290	598 922	438 614	489 408	2 028	14 089	23 323	451	261 852	133 834
51.4	33 655	61 232	35 108	34 464	139	923	1 931	36	19 473	10 521
5	35 701	45 263	30 353	31 504	141	788	1 765	25	20 465	8 778
6	36 600	59 511	45 222	57 357	142	783	1 957	47	29 129	10 522
7	40 717	41 490	38 157	32 863	154	872	2 139	40	17 418	12 772
8	36 225	22 459	34 539	29 437	202	1 642	1 702	50	26 205	14 876
9	35 956	66 130	29 025	32 939	201	1 699	1 706	41	17 632	17 573
10	29 237	51 709	27 075	32 850	186	1 514	1 831	13	17 936	13 007
11	38 608	82 857	26 306	35 674	218	2 103	2 165	49	22 926	18 672
12	48 193	55 325	55 426	99 595	253	1 701	3 395	33	33 656	9 945
52.1	41 680	22 254	63 450	25 897	182	1 335	1 113	18	27 671	11 730
2	31 555	22 740	32 636	38 413	193	1 561	1 563	58	20 678	19 765
3	53 421	81 770	33 698	40 117	214	1 741	1 912	59	—	—

資料：日本銀行水戸事務所

## 11 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受付件数	内 容 別 延 件 数								
		安 全 衛 生	品 質 機 能	価 格 金 料	表 示・広 告 包 装	販 売 方 法 契 約 サ ー ビ ス	ク リ ー ニ ン グ	買 物	そ の 他	
昭和49年	2 354	538	481	168	138	205	33	41	750	
50	2 944	694	790	122	159	314	61	68	922	
51	2 441	763	660	113	91	350	83	38	477	
51.5	148	42	40	6	12	21	5	5	35	
6	207	52	80	7	3	23	6	7	49	
7	186	57	56	10	4	26	3	2	42	
8	209	60	61	14	11	26	8	1	48	
9	231	92	65	14	9	28	8	9	26	
10	278	105	69	14	7	37	9	6	50	
11	177	52	44	11	6	32	8		27	
12	163	54	32	10	3	32	4	1	27	
52.1	196	46	62	9	10	41	4	2	22	
2	281	83	60	10	14	34	10		69	
3	205	66	51	6	3	35	8	2	34	
4	195	56	42	10	6	26	9		26	

資料：茨城県消費生活センター

# 12 家 計

12-1 家計主要指標

(単位：円,%)

年 月	勤 勞 者 世 帯							全 世 帯		消 費 者 物 価 指 数	
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消 費 支 出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平 均 消 費 性 向	(4) 実 質 実 収 入 指 数	(4) 実 質 消 費 支 出 指 数	消 費 支 出		(5) エ ル ゲ ル 係 数
<b>水 戸 市</b>											
昭和48年	165 962	150 284	113 422	36 861	26 073	75.5	108.1	100.8	106 772	31.0	71.1
49	205 792	187 865	142 806	45 059	27 634	76.0	106.5	100.9	132 200	30.5	89.5
50	215 932	197 019	158 185	38 834	27 159	80.3	100.0	100.0	152 207	30.8	100.0
51.2	182 076	164 835	140 731	24 104	18 239	85.4	79.7	84.1	142 531	31.5	105.8
3	238 026	218 230	162 146	56 084	37 618	74.3	104.1	96.8	163 969	30.8	105.9
4	195 393	180 270	162 477	17 792	14 407	90.1	84.1	95.5	160 716	30.1	107.6
5	192 790	164 374	162 927	1 447	8 227	99.1	82.3	94.9	210 410	24.4	108.5
6	367 428	332 074	161 161	170 913	134 841	48.5	155.4	93.0	157 710	32.4	109.5
7	275 831	246 349	177 208	69 141	57 315	71.9	116.6	102.2	170 579	31.3	109.6
8	190 465	171 121	173 365	△ 2 243	△ 5 003	101.3	81.7	101.5	170 571	32.5	108.0
9	192 102	170 326	168 271	2 055	△12 159	98.8	79.8	95.4	161 419	30.9	111.5
10	218 595	195 547	179 676	15 871	360	91.9	90.0	101.0	173 169	30.3	112.5
11	249 881	223 633	186 415	37 218	21 121	83.4	103.3	105.2	181 156	27.9	112.0
12	650 250	596 293	306 153	290 140	210 322	51.3	267.2	171.7	291 111	25.2	112.7
52.1	217 046	194 200	203 149	△ 8 948	4 737	104.6	87.1	111.3	196 107	24.9	115.4
<b>全 国</b>											
昭和48年	165 860	150 935	116 992	33 943	23 121	77.5	97.6	98.1	112 116	31.9	71.9
49	205 792	187 825	142 203	45 622	30 211	75.7	97.4	95.7	136 024	32.6	89.4
50	236 152	215 508	166 032	49 476	31 875	77.0	100.0	100.0	157 982	32.0	100.0
51.1	191 180	173 466	154 429	19 037	24 912	89.0	77.1	88.6	151 760	28.5	105.0
2	193 046	175 043	151 821	23 222	5 257	86.7	77.4	86.6	146 333	33.3	105.6
3	217 993	197 761	186 078	11 683	△ 5 743	94.1	87.1	105.8	178 361	30.2	106.0
4	204 342	185 895	173 452	12 443	△ 4 276	93.3	79.7	96.2	168 834	31.5	108.6
5	202 206	175 274	164 305	10 969	2 837	93.7	78.6	90.9	162 428	34.6	108.9
6	330 675	299 912	177 402	122 510	85 213	59.2	128.3	97.9	169 180	32.5	109.1
7	305 943	277 937	192 508	85 429	59 112	69.3	118.1	105.7	181 639	31.5	109.7
8	223 200	201 754	179 311	22 443	10 050	88.9	86.9	99.3	175 447	33.0	108.8
9	207 873	186 669	162 523	24 146	9 488	87.1	78.8	87.6	159 416	33.5	111.7
10	214 139	192 660	173 493	19 167	9 918	90.1	80.7	93.0	171 531	32.6	112.4
11	216 910	194 195	172 512	21 683	7 459	88.8	81.8	92.4	171 555	31.3	112.4
12	591 338	540 972	280 128	260 844	183 217	51.8	220.4	148.5	261 001	28.9	113.6

(注) (1) 実収入 - 非消費支出 (2) 可処分所得 - 消費支出  
 (3) 消費支出 ÷ 可処分所得 (4) 当該項目(50年=100) ÷ 消費者物価指数  
 (5) 食料費 ÷ 消費支出

資料：総理府統計局

## 12-2 1カ月当たりの収入（水戸市・勤労者世帯）

（単位：世帯、人、歳、円）

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の年齢	収 入 総 額	実収入				実収入 以外の 収 入	前 月 からの 繰入金
						勤め先 収 入	事業・ 内 職 収 入	他 の 実収入			
昭和48年	64	3.88	1.43	41.0	244 967	165 962	155 138	4 905	5 920	28 511	50 493
49	60	3.95	1.45	41.1	315 154	205 792	189 991	5 437	10 364	47 771	61 592
50	63	3.92	1.36	40.5	331 000	215 932	206 190	2 061	7 681	49 367	65 700
51.2	65	3.71	1.25	40.1	299 088	182 076	173 931	1 768	6 377	48 467	68 545
3	65	3.63	1.26	39.8	361 317	238 026	212 671	3 912	21 443	56 124	67 167
4	64	3.63	1.23	41.2	343 764	195 393	165 192	4 293	25 908	75 373	72 998
5	65	3.60	1.25	42.0	326 802	192 790	182 081	1 508	9 201	57 643	76 369
6	66	3.62	1.27	42.1	482 141	367 428	345 491	4 186	17 751	49 963	64 750
7	66	3.61	1.30	42.4	423 119	275 831	262 202	5 301	8 328	68 042	79 246
8	66	3.50	1.30	42.2	346 480	190 465	180 266	2 153	8 046	77 689	78 327
9	62	3.56	1.29	42.7	328 203	192 102	183 674	3 419	5 008	72 079	64 023
10	66	3.52	1.32	42.2	355 182	218 595	201 913	5 151	11 531	67 878	68 709
11	63	3.70	1.43	41.8	385 343	249 881	226 824	7 019	16 038	66 859	68 602
12	68	3.72	1.38	42.1	817 062	650 250	623 860	8 491	17 900	98 292	68 519
52.1	67	3.73	1.36	41.4	373 016	217 046	197 879	3 231	15 936	65 842	90 127

（注） 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

## 12-3 1カ月1世帯当たりの支出（水戸市・勤労者世帯）

（単位：円）

年 月	実 支 出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費				
昭和48年	129 101	113 422	32 701	9 770	3 738	13 254	53 959	15 679	62 709	53 157	9 233
49	160 734	142 806	41 585	12 951	5 073	15 942	67 255	17 927	89 385	65 036	8 101
50	177 098	158 185	47 170	13 461	6 164	16 473	74 917	18 913	86 349	67 552	7 978
51.2	157 972	140 731	43 287	10 704	7 446	14 032	65 262	17 241	66 670	74 446	9 992
3	181 942	162 146	47 670	10 024	7 422	17 082	79 948	19 796	103 816	75 560	10 959
4	177 601	162 477	46 310	15 617	6 483	15 695	78 373	15 123	93 131	73 032	13 376
5	191 343	162 927	49 034	9 887	5 808	14 810	83 388	28 416	71 585	63 874	8 851
6	196 514	161 161	48 404	18 855	4 893	18 444	70 565	35 353	208 968	76 658	8 066
7	206 690	177 208	52 329	22 194	4 443	21 370	76 872	29 483	142 543	73 886	12 566
8	192 709	173 365	53 376	12 643	4 738	14 699	87 910	19 344	85 109	68 662	10 255
9	190 047	168 271	48 487	10 719	4 239	18 661	86 164	21 776	69 859	68 298	7 581
10	202 724	179 676	50 193	21 740	6 054	18 327	83 362	23 048	81 699	70 759	7 944
11	212 663	186 415	50 162	19 995	6 481	19 427	90 351	26 248	93 982	78 698	11 980
12	363 310	306 153	71 732	40 590	9 835	38 210	145 786	57 157	364 231	89 521	25 499
52.1	225 995	203 149	48 237	11 670	9 544	18 820	114 877	22 846	79 308	67 713	16 540

資料：総理府統計局

# 13 レジャー

(単位：円、件)

年 月	勤 労 者 世 帯 (水戸市)		旅 券 交 付 件 数 (観光訪問・その他個人的目的)	旅 行	
	外 食 費	教 養 娛 楽 費 (印刷物・聴視観 覧料・旅行費等)		国 内 (総合旅行・パック)	外 国 (パック)
昭和49年	4 438	12 568	16 390	—	—
50	5 334	13 475	16 588	—	—
51	p 7 664	p 14 953	21 592	3 232	446
51.2	4 566	9 726	1 687	209	23
3	6 167	10 941	1 542	353	57
4	5 375	14 675	1 284	289	41
5	6 900	12 846	1 645	193	44
6	7 220	10 880	1 600	151	27
7	7 744	13 177	2 011	339	21
8	7 902	16 802	2 151	416	13
9	6 404	12 296	2 476	207	23
10	6 559	13 868	2 217	466	71
11	7 690	12 091	1 450	369	56
12	9 936	25 734	2 146	144	48
52.1	8 813	14 290	2 312	107	23

(注) 「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため、対象は水戸市内の少数世帯に限られている。資料：総理府統計局、県民福祉課 日本交通公社水戸支店

# 14 保 健 相 談

保健婦活動状況

(単位：世帯、人、回)

年 月	家 庭 訪 問		家 庭 訪 問 以 外 (実施回数)			
	被訪問世帯数	被訪問延人員	健 康 相 談	集 団 検 診 集 団 保 健 指 導	予 防 接 種	衛 生 教 育
昭和49年	80 964	100 424	3 555	4 031	5	2 178
50	87 354	107 835	3 600	3 890	4	2 559
51	p 89 345	p 112 554	p 3 571	p 3 933	p 20	p 2 644
51.1	...	...	...	...	...	...
2	...	...	...	...	...	...
3	22 394	28 022	904	922	—	617
4	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...
6	24 031	30 665	859	778	2	614
7	...	...	...	...	...	...
8	...	...	...	...	...	...
9	20 599	26 393	907	1 316	15	785
10	...	...	...	...	...	...
11	...	...	...	...	...	...
12	22 321	27 474	901	917	3	628

資料：県医務課

# 15 交通事故

交通事故発生件数

(単位：人、件)

年 月	発生件数	死 者	負 傷 者	原 因 別 発 生 件 数							
				安全運転義務違反			酒 酔 い	最 高 速 度 違 反	追 越 し	徐 行	一 時 停 止
				わ き 見 前 方 注 意	安 全 速 度	ハ ン ド ル ア プ レ ー キ 操 作 不 適 当					
昭年49年	11 850	480	16 114	3 025	1 414	341	1 072	322	482	594	397
50	11 515	425	15 493	2 929	976	521	934	750	393	606	420
51	11 040	374	14 877	2 888	847	532	839	631	468	702	416
51.2	864	30	1 173	188	56	52	67	50	46	55	33
3	928	34	1 242	269	74	53	73	55	51	54	27
4	870	39	1 117	231	69	45	77	41	41	34	39
5	1 035	25	1 399	261	61	49	77	47	44	44	43
6	899	26	1 193	200	86	49	48	55	50	79	39
7	991	39	1 390	278	75	50	73	51	29	74	41
8	1 015	37	1 423	264	90	48	61	79	31	77	41
9	817	32	1 087	220	72	40	55	50	30	60	21
10	901	16	1 206	225	75	27	77	70	36	62	26
11	923	22	1 201	262	60	42	88	43	39	70	25
12	969	35	1 331	298	76	31	83	51	41	56	33
52.1	837	29	1 174	237	75	62	83	44	26	39	40

(注) 原因別発生件数はうち書きであるため、その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

# 16 交通事故保障相談

保障相談件数

(単位：件)

年 月	総 数			自 賠			保 障			任 意		
	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他
昭和49年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	502	300	235	443	274	198	19	4	6	9	3	—
51	536	286	334	442	251	284	40	4	18	10	8	8
51.5	50	19	19	46	16	18	1	—	—	—	—	—
6	49	21	31	42	17	27	2	1	2	—	—	—
7	55	12	23	43	11	20	7	1	2	—	—	1
8	35	21	24	27	19	21	7	—	2	—	2	1
9	39	25	25	32	24	19	4	—	—	1	1	3
10	50	24	21	40	20	19	1	1	1	4	—	1
11	35	28	27	32	27	25	1	—	1	—	—	1
12	41	42	27	28	32	23	4	1	1	2	2	—
52.1	43	21	37	32	16	30	4	—	2	2	1	—
2	46	25	35	39	23	28	5	—	1	1	2	—
3	41	28	41	39	27	36	2	—	3	—	—	—
4	46	17	37	37	16	30	4	1	1	—	—	1

(注) (1) 自賠、保障、任意はうち書のため総数と合計は合わない。  
 (2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険、保障＝政府保障事業で、保険によらず、直接運輸大臣あて請求するもの（無保険・引き逃げ）、任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車  
 保険請求相談センター

# 17 犯 罪

刑法犯罪発生件数

(単位：件)

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
昭和49年	21 544	234	1 510	18 413	612	102	673
50	21 814	351	1 347	18 696	604	147	669
51	21 213	253	1 319	17 843	946	106	746
51.5	1 826	14	94	1 583	44	24	67
6	2 160	19	117	1 869	105	11	39
7	1 612	28	106	1 342	71	11	54
8	1 678	29	109	1 410	76	7	47
9	1 978	25	100	1 733	37	17	66
10	1 577	19	74	1 373	69	5	37
11	1 800	31	100	1 431	166	3	69
12	2 120	24	155	1 699	83	9	150
52.1	1 443	22	94	1 219	45	5	58
2	1 674	23	105	1 409	76	6	55
3	1 515	25	123	1 203	66	11	87
4	1 656	13	130	1 330	82	16	85

資料：県警察本部刑事総務課

# 18 火 災

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹 災 人 員 数	死 傷 者 数 (人)		焼 損 棟 数	損 害 額 (万円)	
				死 者	傷 者		建 物	林 野
昭和49年	1 596	641	2 412	35	132	1 066	219 281	11 129
50	1 586	618	2 227	41	208	1 023	200 437	736
51	1 593	645	2 368	48	110	1 079	230 797	2 508
51.1	295	72	256	5	12	140	19 974	1 547
2	176	58	220	2	7	98	11 936	775
3	218	59	263	3	12	110	21 036	89
4	163	62	222	2	10	114	20 853	39
5	111	61	219	1	10	84	9 002	15
6	60	30	127	4	3	60	6 701	—
7	75	49	150	5	5	71	13 871	—
8	73	43	165	5	16	56	11 210	—
9	72	39	130	2	9	64	8 326	—
10	90	52	202	4	9	82	17 155	10
11	82	45	158	6	9	75	14 444	0
12	178	75	256	9	8	125	76 288	32

資料：県消防防災課

## … 刊行物のお知らせ …

この資料は、3月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

付属庁舎4階 行政資料室 TEL 0292-21-8111 (内線 427)

行 政 資 料 名	発 行 所(者)	行 政 資 料 名	発 行 所(者)
<b>中央官公庁関係</b>		<b>県内市町村関係</b>	
昭和50年 国勢調査報告(鹿児島県)	総理府統計局	昭和51年 村勢要覧「さとみ」	里美村
昭和50年 伝染病及び食中毒統計	厚生省統計情報部	昭和52年 村勢要覧「美浦」	美浦村
昭和50年 人口動態統計	"	<b>都道府県関係</b>	
昭和51年 果樹基本統計調査概要	農林省統計情報部	昭和49年 宮城県統計総覧	宮城県統計課
1975年 農業センサス農業就業構造報告書	"	昭和50年 栃木県消費者物価指数年報	栃木県統計課
昭和51年 関東の麦	農林省関東農政局	昭和51年 学校基本調査報告書	千葉県
昭和40年～50年 茨城県の農村物価指数	茨城統計情報事務所	昭和50年 東京都統計年鑑	東京都統計部
昭和50年 茨城県の養蚕	"	昭和52年 保管統計資料一覧	"
昭和51年 茨城食糧事務所要覧	茨城食糧事務所	昭和51年 商業統計	石川県統計調査課
昭和49年 支店のある企業統計表	通産省調査統計部	昭和51年 図書目録	山梨県行政資料センター
昭和51年 陸運統計要覧	運輸省情報管理部	昭和50年 京都府の工業	京都府統計課
<b>茨城県関係</b>		昭和51年 大阪府の人口	大阪府統計課
昭和51年 光化学スモッグ対策の概要	大気原子力課	昭和51年 商業統計調査結果	"
昭和51年 市町村財政実態資料	地方課	昭和51年 学校基本調査報告書	島根県統計課
昭和51年 教育統計報告書	統計課	昭和51年 島根県消費者動向予測調査	"
昭和50年 茨城県農林水産業生産指数	"	昭和50年 徳島県統計書	徳島県統計課
昭和51年 商業統計調査報告書	"	昭和50年 徳島県地域メッシュ調査報告書	"
昭和51年 社会福祉施設職員研究論文集	県民福祉課	昭和51年 資料目録	香川県行政資料室
昭和52年 水道事業の実態	薬務水道課	昭和52年 香川県統計要覧	" 統計調査課
昭和52年 笠間地区石材・採石業診断勧告書	経営指導課	昭和51年 佐賀県統計年鑑	佐賀県統計調査課
昭和52年 植物防疫事業	農産園芸課	昭和51年 商業統計調査結果	大分県統計課
昭和51年 イネ病害虫防除対策成績書	"	昭和51年 宮崎県勢要覧	宮崎県
昭和52年 茨城の果樹と花き	"		
昭和52年 茨城の特産農作物	"		
昭和52年 病害虫・雑草防除基準	"		
昭和50年 森林組合の現況	林政課		
昭和52年 茨城の水産	漁政課		
昭和52年 茨城の野菜	食品流通課		
昭和50年 いばらきの教育費	教育庁総務課		
昭和51年 高校生の卒業後の進路調査	"		





## 学校基本調査が行われます

5月1日は、学校基本調査の調査日です。結果の速報は、今年の末頃の統計いばらき紙上に掲載します。

この調査では、幼稚園から高等学校・盲・ろう・養護学校までの学校数、児童・生徒数・教員数が、各市町村ごとにわかります。

担当係は、県統計課人口学事統計係（TEL0292-21-8111内線421）です。

## 全国物価統計調査は22市町村で

全国から抽出された市町村を対象に、全国物価統計調査が行われます。茨城県では、水戸市など22市町村が対象です。

卸売は5月20日、小売は5月25日、生鮮食料品は5月25～27日に、それぞれ価格、販売数量などを調査します。

結果は、来年の3月に「昭和52年全国物価統計調査報告」として公表する予定です。

担当は、県統計課消費統計係（TEL0292-21-8111内線424）です。

## 統計調査員研修会が開催されます

5月10～11日にかけて、各市町村から推薦された統計調査員の皆さんの研修会が開かれます。

電子計算課で、コンピューターによる集計作業を見学の後、伊香保温泉へというスケジュールです。

担当は、県統計課企画調整係（TEL0292-21-8111内線420）です。

## 編集者のぼやき

今月号から、12ページ増の32ページとなりました。今までのシリーズもの、喫煙室などは変わりませんが、調査のページは2倍の4ページになりました。充実した結果をお知らせできると思います。

また、新企画としては、利用者からの問い合せに担当者が答える「統計の窓」、茨城の変遷をたどる「茨城の20年」を、2ページずつ設けました。

統計いばらきは、統計課の機関紙です。どんな原稿でも結構です。ふるってご投稿ください。

送り先は、

水戸市三の丸1-5-38 〒310

茨城県企画部統計課企画調整係「統計いばらき」担当まで

TEL 0292-21-8111 内線 420